

宍道湖流入・流出水調査月報

(平成11年8月期)

水質概要

8月の水温は、表1に示すとおり平年値(上層29.2、中層28.9、下層28.4)と比較すると平年並の変動であった。図1に示すように、8月中旬から下旬では上旬に比べ、3ほど低下が見られた。また、8月15日および8月20日に見られた高塩分水の流入時に中層および下層では急激な低下が見られた。

8月の塩分は、表1に示すとおり平年値(上層5.5psu、中層7.7psu、下層9.4psu)と比較すると、上層、中層、下層ともに平年並の値を示していた。また、8月は15psu以上の高塩分水の流入が頻繁に観測された。8月は、気圧の変動と高塩分水の流入に顕著な関係は見られなかった(図2参照)。

8月の溶存酸素濃度は、表1に示すとおり上層、中層、下層ともに低い値を示していた。とくに、中層および下層では2mg/l以下の低い溶存酸素濃度が頻繁に観測された。一方、図1に示すように中層および下層では、20psu以上の高塩分水の流入時に、1mg/l以下まで急激な低下が見られた。

表1 8月期の水質概要

		水温 ()	塩分 (PSU)	溶存酸素 濃度 (mg/l)
上旬	上層	28.6	5.7	3.2
	中層	28.6	7.2	1.5
	下層	28.6	9	1.6
中旬	上層	29.1	5.3	2.7
	中層	29.2	8.2	1.4
	下層	29.1	10	1.3
下旬	上層	27.6	6.8	3.5
	中層	27.8	10.4	2
	下層	27.5	10.5	1.6
月間平均 (8月)	上層	28.5	6	3.1
	中層	28.5	8.7	1.7
	下層	28.4	9.9	1.5

(水温・塩分平均値は、島根大学 宍道湖・中海水質月報、1994年3月より引用)

(表の中の数字は、平均値を示す)

水質

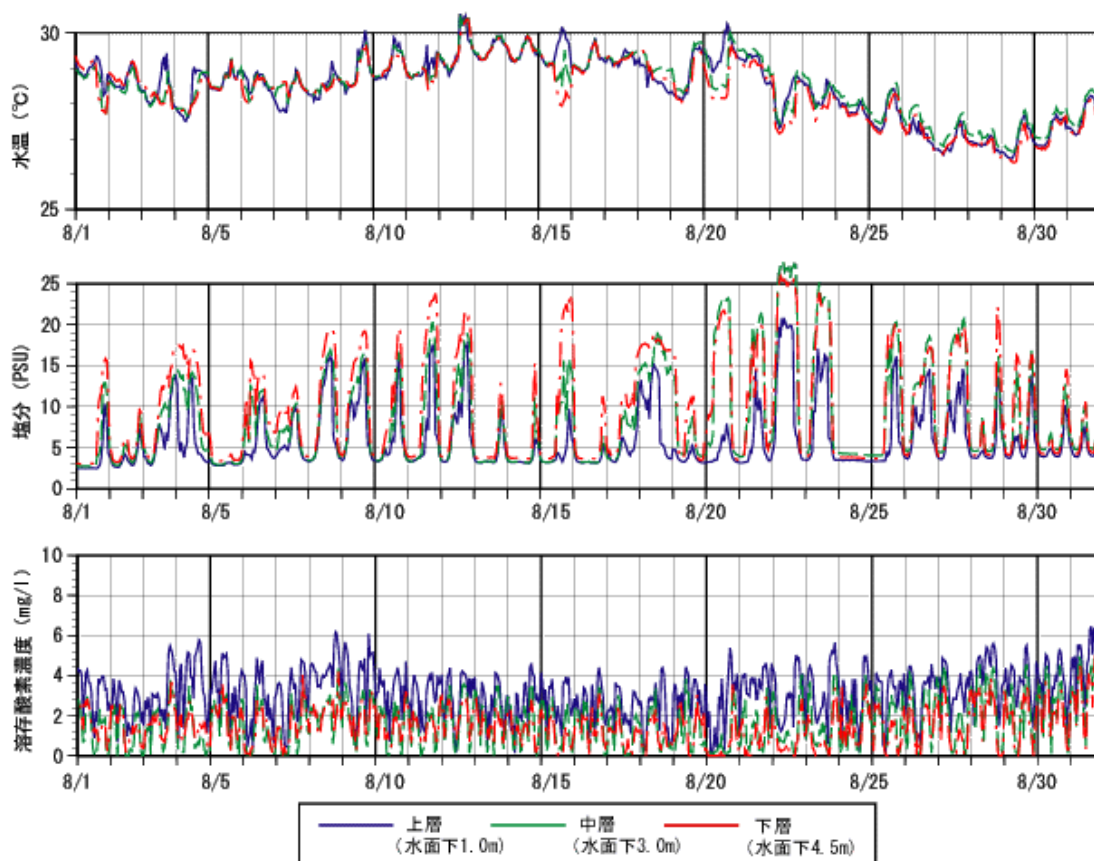


図1 水温・塩分・溶存酸素濃度の時系列変化

気象概況

8月は、表2に示すとおり、平均気温27.1（平年値26.5）であり、平年と比較して若干高かった。

図2に示すように、8月の気圧変動は、顕著な気圧の低下が見られなかった。

平均気圧1007hPaは、ほぼ平年並であった（平年値1008hPa）。

表2に示すとおり、8月の日射量は、上旬から下旬ではおおむね0.10MJ/m²以上で変動していたが、中旬以降は、0.10MJ/m²以下の日が頻繁に見られた。（7月平均値：0.10MJ/m²）。

8月の風向・風速は、平均風速2.4m/sec、風向は東（平年値2.9m/sec,東風）であり、平年並であった。

表 2 8 月期の気象概要

	気温 ()	気圧 (hPa)	風速 (m/sec)	風向	日射量 (MJ/m ²)
上旬	29.5	1006	3	北	0.127
中旬	26.8	1006	2.1	北	0.103
下旬	25.4	1009	2	北	0.088
月間平均 (8月)	27.1	1007	2.4	北	0.106

(平年値は、平成 11 年気象の暦 (山陰版) (財) 日本気象協会中国センターより引用)

(表中の数字は、平均値を示す)

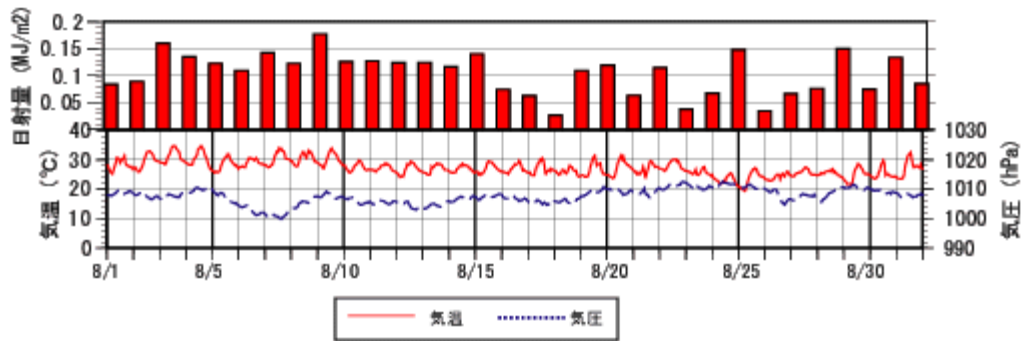


図 2 気温・気圧・日射量の時系列変化

流況

8 月の平均東方流速は、上層 18.9cm/sec、中層 5.0cm/sec、下層 3.6cm/sec であった。また、図 3 に示すように、8 月の東方流速は、上旬および下旬では中海から宍道湖に向かう流れが卓越し、中旬では、宍道湖から中海に向かう流れが卓越していた。全体としては顕著な変動は見られなかった。

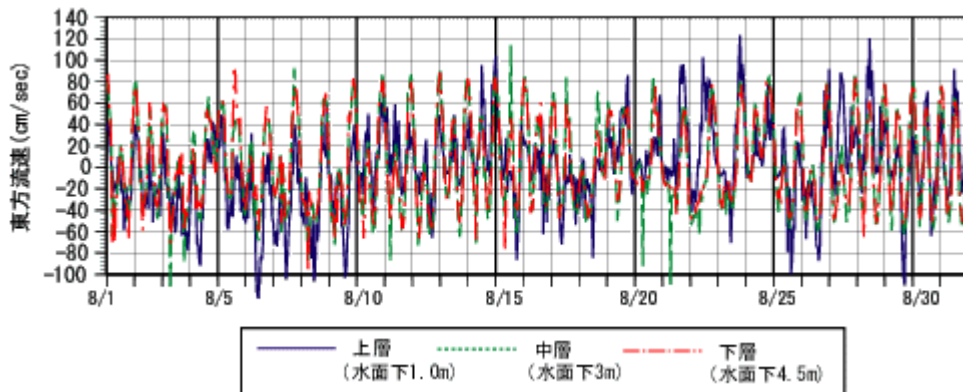


図 3 東方流速の時系列変化